

札幌歯科学院専門学校訪問介護員養成研修(2級課程)

研修機関情報

法人情報	
法人格	社団法人
法人名称	札幌歯科医師会
法人住所	〒064-0807 北海道札幌市中央区南7条西10丁目1034番地
代表者名	藤田 一雄
研修担当理事	尾崎 勝巳

研修機関情報	
事業者名称	社団法人札幌歯科医師会立 札幌歯科学院専門学校訪問介護員養成研修(2級課程)
事業者住所	〒064-0807 北海道札幌市中央区南7条西10丁目1034番地
学則	3～5頁に掲載しています
研修施設/設備	社団法人札幌歯科医師会立札幌歯科学院専門学校 及び札幌市内介護保険施設5施設

研修事業情報

研修の概要	
対象	社団法人札幌歯科医師会立 札幌歯科学院専門学校歯科衛生士科学生
研修のスケジュール	研修期間 1年6か月(本校在学中に実施します。) 日 程 講義(58時間)は1年次9月より開始 演習(42時間)は1年次1月より開始 実習(30時間)は2年次5月より開始 詳細は「カリキュラム」6頁を参照してください
定員	50名
指導員数	13名
費用	本校学費内で実施しますので、養成研修の授業料等の負担はありませんが、研修で使用する教材の教科書は学生の負担となります。
留意事項/特徴 /受講者へのメッセージ	研修は全て本校の歯科衛生士科カリキュラムに含まれていますので、卒業と同時に訪問介護員養成研修2級課程の資格が無理なく取得できます。

課程責任者	
課程編成責任者	谷内 健司
課程編成責任者略歴	平成14年～ 谷内歯科クリニック開設 平成21年～ 札幌歯科学院専門学校歯科衛生士科長
課程編成責任者資格	歯科医師

研修カリキュラム	
科目(教科)別シラバス	7～10頁に掲載しています
科目(教科)別時間数	「カリキュラム」又は「科目別シラバス」を参照してください
科目(教科)別担当教官名	「講師・担当科目一覧」11～12頁を参照してください
科目(教科)別特徴	「科目別シラバス」を参照してください
修了評価	<p>1. 修了認定等</p> <p>(1) 出欠確認 各教科の開始時に出欠確認を行います。</p> <p>(2) 成績評価 試験の成績と授業の出席状況、課題の取り組み等を考慮して総合的に評価します。</p> <p>(3) 修了認定 修了の認定は札幌歯科学院専門学校役職員の議を経て決定します。</p> <p>(4) 修了証明書 修了が認定された者は、所定の修了証明書を交付します。</p> <p>2. 補講の取扱い 学則に定める研修時間に満たない者については補講を行います。 但し 講義(ホームヘルパーの職業倫理、介護事例検討を除く)についてはレポート提出で補講とします。</p>

実習施設	
名称/住所	「実習施設一覧」13～14頁を参照してください

講師情報

名前 略歴、現職、資格 担当科目(教科)	15～17頁に掲載しています
----------------------------	----------------

実績情報

過去の研修実施回数 過去の研修延べ参加人数	第1回	平成11年実施	71名
	第2回	平成12年実施	73名
	第3回	平成13年実施	74名
	第4回	平成14年実施	71名
	第5回	平成15年実施	79名
	第6回	平成16年実施	74名
	第7回	平成17年実施	78名
	第8回	平成18年実施	73名
	第9回	平成19年実施	65名

連絡先等

申し込み・資料請求先	札幌歯科学院専門学校		
法人の苦情対応者	事務長	和泉利哉	電話 011-511-1885
事業所の苦情対応者	歯科衛生士科	教務主任 市川智恵	電話 011-511-1885

学 則

1 研修の目的

在宅サービスの中核となる訪問介護員の養成を図り、高齢化社会への対応の一助とする。

2 研修の名称

社団法人札幌歯科医師会立札幌歯科学院専門学校訪問介護員養成研修（2級課程）

3 研修の要旨

研修課程	事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員(人)	受講料(円)	受講対象者
2級	札幌市	昼間	1年6か月	1年6か月	70 平成21年度生より50	教科書代のみ徴収	歯科衛生士科第1学年及び第2学年学生

4 受講手続

(1) 募集時期

本校学生を対象とするため、一般者の募集は行わない。

(2) 受講料納入方法

本校学費内で実施のため、当該研修の授業料等の徴収は行わないが、研修で使用する教材の教科書は学生の負担とする。

5 カリキュラム

I 講義 58時間

2級課程カリキュラムに定める科目(教科)名	本校教育課程における教科名	研修時間
1 社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義(6時間)		
福祉理念とケアサービスの意義	保健指導	3時間
サービス提供の基本視点	衛生行政	3時間
2 老人保健福祉及び障害者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義(6時間)		
老人福祉の制度とサービス	社会福祉	3時間
障害者(児)福祉の制度とサービス	社会福祉	3時間
3 訪問介護に関する講義(5時間)		
ホームヘルプサービス概論	保健指導	3時間
ホームヘルパーの職業倫理	歯科臨床概論	2時間
4 老人及び障害者の疾病、障害等に関する講義(14時間)		
障害、疾病の理解	保健指導(高齢者介護)	8時間
高齢者、障害者(児)の心理	社会心理学	3時間
高齢者、障害者(児)等の家族の理解	保健指導(高齢者介護)	3時間
5 介護技術に関する講義(11時間)		
介護概論	保健指導(高齢者介護)	3時間
介護事例検討	歯科診療補助(看護法)	4時間
住宅・福祉用具に関する知識	特別講義	4時間
6 家事援助の方法に関する講義(4時間)		
家事援助の方法	栄養指導	4時間
7 相談援助に関する講義(4時間)		
相談援助とケア計画の方法	特別講義	4時間
8 医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義(8時間)		
医学の基礎知識I	歯科臨床概論	3時間
在宅看護の基礎知識I	歯科診療補助(看護法)	3時間
リハビリテーション医療の基礎知識	保健指導	2時間

II 演習 42時間

2級課程カリキュラムに定める科目(教科)名	本校教育課程における教科名	研修時間
1 福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習(4時間)		
共感的理解と基本的態度の形成	保健指導(高齢者介護)	4時間
2 介護技術に関する演習(30時間)		
基本介護技術	保健指導(高齢者介護)	30時間
3 訪問介護計画の作成等に関する演習(5時間)		
ケア計画の作成と記録、報告の技術	臨床実習(介護実習)	5時間
4 レクリエーションに関する演習(3時間)		
レクリエーション体験学習	保健指導(高齢者介護)	3時間

III 実習 30時間

2級課程カリキュラムに定める科目(教科)名	本校教育課程における教科名	研修時間
1 介護実習(24時間)		
介護実習	臨床実習(介護実習)	16時間
ホームヘルプサービス同行訪問	臨床実習(介護実習)	8時間
2 老人デイサービスセンター等のサービス提供現場の見学(6時間)		
在宅サービス提供現場見学	臨床実習(介護実習)	6時間

6 研修の免除

研修の免除は行わない。

7 主要テキスト

ホームヘルパー講座2級課程テキスト 日本医療企画

8 修了認定

(1) 出欠の確認方法

各教科の開始時に出席の確認を行い、出席簿を作成し保存する。

(2) 成績の評定方法

試験の成績と授業の出席状況、課題の取り組み等を考慮して総合的に評価する。

(3) 修了の認定方法

札幌歯科学院専門学校教職員会の議を経て決定する。

(4) 修了証明書

修了が認定された者は、修了証明書(別紙6)を交付する。

9 補講の取扱い

学則に定める研修時間に満たない者については必要な補講を受けなければならない。
但し 講義(ホームヘルパーの職業倫理、介護事例検討を除く)についてはレポートで行うことができる
尚 実施した補講については記録簿を作成し保存する。

10 退学規定

(退学)

学生が退学する場合は、退学願(所定の様式)を提出し、学院長の許可を受けなければならない。

(強制退学)

学生で次の各号の一に該当する時は退学を命ずることがある。

- (1) 素行不良で改しゅんの見込がない者
- (2) 疾病又は学力劣等で卒業の見込がない者
- (3) 正当な理由がなく引続き1か月以上欠席した者
- (4) 本校に納めるべき諸費を許可なく滞納した者
- (5) 同一学年に2年以上留まった者

11 講師

別添（添付3号様式）のとおりとする。

12 実習施設

別添（添付5号様式）のとおりとする。

附則

1. 本学則は平成11年4月1日より施行する。
2. 平成21年6月9日 一部改正

カリキュラム 130時間

I 講義 58時間

科目（教科）名	本校教育課程における教科名	時間数
福祉理念とケアサービスの意義	保健指導	3時間
サービス提供の基本視点	衛生行政	3時間
老人福祉の制度とサービス	社会福祉	3時間
障害者（児）福祉の制度とサービス	社会福祉	3時間
ホームヘルプサービス概論	保健指導	3時間
ホームヘルパーの職業倫理	歯科臨床概論	2時間
障害、疾病の理解	保健指導（高齢者介護）	8時間
高齢者、障害者（児）の心理	社会心理学	3時間
高齢者、障害者（児）等の家族の理解	保健指導（高齢者介護）	3時間
介護概論	保健指導（高齢者介護）	3時間
介護事例検討	歯科診療補助（看護法）	4時間
住宅・福祉用具に関する知識	特別講義	4時間
家事援助の方法	栄養指導	4時間
相談援助とケア計画の方法	特別講義	4時間
医学の基礎知識Ⅰ	歯科臨床概論	3時間
在宅看護の基礎知識Ⅰ	歯科診療補助（看護法）	3時間
リハビリテーション医療の基礎知識	保健指導	2時間

II 演習 42時間

科目（教科）名	本校教育課程における教科名	時間数
共感的理解と基本的態度の形成	保健指導（高齢者介護）	4時間
基本介護技術	保健指導（高齢者介護）	30時間
ケア計画の作成と記録、報告の技術	臨床実習（介護実習）	5時間
レクリエーション体験学習	保健指導（高齢者介護）	3時間

III 実習 30時間

科目（教科）名	本校教育課程における教科名	時間数
介護実習	臨床実習（介護実習）	16時間
ホームヘルプサービス同行訪問	臨床実習（介護実習）	8時間
在宅サービス提供現場見学	臨床実習（介護実習）	6時間

科目別シラバス

I 講義 58時間

教科目	目的	学習内容
1 社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義 (6時間)		
福祉理念とケアサービスの意 (3時間)	社会福祉の基本的理念について理解する。 ケアサービスの意義について把握し、チームケアの必要性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・QOLの向上、ノーマライゼーションの考え方 ・ケアサービスの意義、目標、自己実現 ・チームケアの必要性、チームケアの類型と実際
サービス提供の基本視点 (3時間)	福祉サービスを提供するに当たっての基本視点を形成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間観 ・ホームヘルプサービスの基本理念、生活者としての視点、自己実現の視点、等 ・他者理解と共感 ・自立支援 ・利用者の自己決定
2 老人保健福祉及び障害者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義 (6時間)		
老人福祉の制度とサービス (3時間)	介護保険制度を中心とした老人保健福祉の制度とサービスについて理解する。 ※介護保険制度に関する内容を中心とした講義内容とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・老人保健福祉の背景と動向 ・介護保険制度の概要とサービスの理解 ・その他の老人保健福祉の制度とサービスの理解 ・医療・年金・生活保護制度・住宅施策等その他老人保健福祉に関連する制度、施策
障害者(児)福祉の制度とサービス(3時間)	障害者(児)福祉の制度とサービスの種類、内容、役割を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者(児)福祉の背景と動向 ・身体障害者福祉の制度 ・知的障害者福祉の制度 ・児童福祉の制度 ・各福祉サービスの種類、内容とその役割 ・障害者(児)福祉に関する制度、施策
3 訪問介護に関する講義(5時間)		
ホームヘルプサービス概論 (3時間)	ホームヘルプサービスの役割と業務を理解する。 ※介護保険制度における運営基準等についての内容や考え方について含める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービスの社会的役割 ・ホームヘルプサービスの制度と業務内容 介護保険制度における運営基準等の理解 ・チーム運営方式の理解 ・24時間対応巡回型ホームヘルプサービスの理解 ・地域包括支援センター等関係機関との連携 ・介護保険制度における居宅介護支援との連携 ・近隣・ボランティア等との連携 ・関連職種の基本知識
ホームヘルパーの職業倫理 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービスに従事する際の職業倫理について理解する。 ・サービス提供における利用者の人権の尊重について理解する。 ※実際のサービス提供における人権の尊重について重点的項目として取り上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービス業務においてとるべき基本的態度 ・福祉業務従事者としての倫理 ・サービス提供における利用者の人権の尊重、プライバシーの保護等 ※事例を用いて理解を深める。 ・成年後見制度と権利擁護制度
4 老人及び障害者の疾病、障害等に関する講義(14時間)		
障害・疾病の理解 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務において直面する頻度の高い障害・疾病を医学的に理解する。 ・実践的視点で利用者の状態像を把握する。 ・援助の基本的な方向性を把握する。 ※介護保険法の対象となる特定疾病の概要を加える。	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による老化 ・認知症 ・脳卒中後遺症(肢体不自由、失語症等) ・精神障害(統合失調症を中心として) ・脳性麻痺、脊髄損傷等による肢体不自由 ・知的障害、自閉症、ダウン症 ・てんかん ・視覚障害、聴覚障害 ・心機能障害等の内部障害 ・高血圧、糖尿病 ・介護保険法における特定疾病の概要 等
高齢者・障害者(児)の心理 (3時間)	高齢者、障害者(児)の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者(児)の生活・行動と心理 ・高齢者、障害者(児)の人間関係 ・高齢者、障害者(児)とのコミュニケーション ・生き生きとした生活に向けての心理的援助の実際
高齢者、障害者(児)等の家族の理解 (3時間)	高齢者、障害者(児)等の家族に対する理解を深め、援助の目的と機能を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、世帯等の定義と内部構造 ・高齢者、障害者(児)の家族のストレス ・家族に対するアセスメントの方法 ・家族とのコミュニケーションと援助 ・母子、父子家庭の理解

5 介護技術に関する講義(11時間)		
介護概論 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 介護の目的と機能を理解し、介護の基本原則を把握する。 在宅介護の特徴とすすめ方を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護の目的、機能と基本原則 介護ニーズと基本的対応 在宅介護におけるリハビリテーションの視点 リハビリテーション介護とは ターミナルケアの考え方 介護者の健康管理
介護事例検討 (4時間)	生活者としての援助対象者の介護事例を通して、適切な介護方法を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者介護の特徴と留意点 <ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの高齢者、寝たきりの高齢者、認知症高齢者、骨折等への注意、高齢者と性等 障害者介護の特徴と留意点 <ul style="list-style-type: none"> 進行性障害への配慮、障害者夫婦への援助、精神障害への対応、視覚・聴覚障害者への対応等 障害児介護の特徴と留意点 <ul style="list-style-type: none"> 思春期の特徴と対応、家族への対応、自傷・他害への対応等
住宅・福祉用具に関する知識 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障害者(児)にとっての快適な住宅について理解を深め、住宅の改造に関する知識を学習する。 福祉用具についての理解を深め、主な福祉用具の種類と機能を把握する。 ※介護保険制度における福祉用具貸与・購入、住宅改修の概要について加える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活行動と生活空間 在宅介護における住宅の役割と機能 快適な室内環境 防災等の安全管理 住宅改造のポイントと事例 福祉用具の役割と利用に関する知識 主な福祉用具の種類と機能・使用法に関する知識 介護保険制度上の福祉用具貸与・購入費、住宅改修費の概要
6 家事援助の方法に関する講義(4時間)		
家事援助の方法 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障害者(児)への家事援助の目的と機能を理解し、その方法を学習する。 高齢者、障害者(児)への家事援助に必要な栄養、調理、被服の知識を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家事援助の目的、機能と基本原則 家事援助の方法 家事援助における自立支援 高齢者、障害者(児)と栄養、食生活のあり方 食品の保存・管理 ゴミの始末、調理器具、食器等の衛生管理 高齢者、障害者(児)への調理技術(味付け、きざみ食等) 糖尿病、高血圧等に対応する特別食 高齢者、障害者(児)と被服
7 相談援助に関する講義(4時間)		
相談援助とケア計画の方法 (4時間)	ケアマネジメントの視点と方法を理解した上で、ホームヘルパーとして行う相談援助の方法及びケア計画の作成方法を学習する。 ※介護保険制度における居宅介護支援についての内容を含める。	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジメントの視点 介護保険制度における居宅介護支援の理解 相談援助の目的、機能と基本原則 情報収集とニーズの発見 業務におけるケア計画の方法 <ul style="list-style-type: none"> 目標の設定、計画の作成 援助内容の見直しの視点と手続
8 医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義(8時間)		
医学の基礎知識 I (3時間)	高齢者、障害者(児)の在宅生活援助に役立つ知識を中心に家庭の医学等の基礎知識を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な疾患の基礎知識と予防・対処方法 <ul style="list-style-type: none"> 風邪、発熱、腹痛、火傷、骨折、食中毒等 ※バイタルサインの発見方法を含む。 感染症の理解と予防 <ul style="list-style-type: none"> MRSA、B型肝炎、疥癬、梅毒等 医療関係制度の基礎知識
在宅看護の基礎知識 I (3時間)	高齢者、障害者(児)の在宅看護の基礎知識を学習する。	在宅看護方法の理解 <ul style="list-style-type: none"> 身体を観察 <ul style="list-style-type: none"> 観察の視点、体温測定、血圧測定等 薬の飲ませ方と保管 特別な処置 <ul style="list-style-type: none"> 吸引、吸入、浣腸、摘便等
リハビリテーション医療の基礎知識 (2時間)	理学療法士と作業療法士を中心にリハビリテーションの基礎知識を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション医療の意義と役割 リハビリテーション医療の概要 <ul style="list-style-type: none"> 理学療法、作業療法、言語療法等 訪問リハビリテーションのスタッフとの連携の進め方 リハビリテーション介護とは

II 演習 42時間

教科名	目的	学習内容
1 福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習（4時間） 共感的理解と基本的態度の形成（4時間）	サービスの利用者の立場に立った理解とサービス提供者としての基本的態度を形成する。	ロールプレイ等の方法によりサービス提供場面の演習を通して、サービス利用者に対する共感的理解と基本的態度を形成する。 訪問・提出時の挨拶 傾聴的態度、信頼関係の形成 物の処分・移動における言葉かけ 銀行入金代行業務や買物業務時の注意点（レシートの取得 等） できないことの拒否の仕方 助言の仕方 認知症高齢者等とのコミュニケーション 視覚・聴覚障害者とのコミュニケーション 等 ※親密さと無礼の境目（「キクちゃん」等の幼児語使用）等にも留意して演習する。
2 介護技術に関する演習（30時間） 基本介護技術（30時間）	食事、排泄、入浴、移動・移乗、その他基本的な介護技術を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の介護 ・ 排泄・尿失禁の介護 ・ 衣服着脱の介護 ・ 入浴の介護 ・ 体位・姿勢交換の介護 （座位保持、褥瘡への対応を含む。） ・ 肢体不自由者の歩行の介護 ・ 車椅子への移乗等の介護 ・ 車椅子等での移動の介護 ・ 視覚障害者の歩行の介護 ・ ベットメイキングの方法 ・ 身体の清潔（清拭、洗髪、口腔ケア等）の方法 ・ 緊急時対応法（骨折、火傷、てんかん発作、化学物質による中毒等）等 ・ 腰痛の予防等援助者の健康管理
3 訪問介護計画の作成等に関する演習（5時間） ケア計画の作成と記録、報告の技術（5時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームヘルパーとしてのケア計画の作成技術を学習する。 ・ 業務及び事例の記録の方法と報告の仕方等を学習する。 	ロールプレイ、VTR等により情報が提供された想定事例に対して以下の項目を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務のための情報収集とアセスメント ・ サービス提供プランの想定 ・ ホームヘルパーとしての援助目標の設定とケア計画の作成 ・ 記録の書き方 ・ 上司への報告・相談の仕方（カンファレンスでの報告の仕方を含む。） ・ 事例報告のまとめ方 ※記録の書き方については、いくつかの適切と思われる記録様式（用紙）を紹介する。 ※事例報告のまとめ方については、いくつかの既存の事例報告を紹介し、討論形式で学習する。
4 レクリエーションに関する演習（3時間） レクリエーション体験学習（3時間）	高齢者、障害者（児）を対象とするレクリエーションについて体験的に理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ レクリエーションの視点とプログラム ・ 高齢者、障害者（児）を対象とするレクリエーションの体験学習

Ⅲ 実 習 30時間

*実習は原則演習修了後に実施します。ただし、やむを得ない場合であっても、少なくとも演習中の「共感的理解と基本的態度の形成」及び「基本介護技術」を修了した後でなければ、「介護実習」及び「ホームヘルプサービス同行訪問」は実施しません。

*実習に先立ち、オリエンテーションを実施します。

教科目	目 的	学習内容
1 介護実習（24時間）		
介護実習（16時間）	講義、演習の各内容を老人保健・福祉施設において実践することにより介護技術を中心とする援助能力を高める。	特別養護老人ホーム、老人保健施設、老人福祉施設における介護実習
ホームヘルプサービス同行訪問（8時間）	ホームヘルプサービス同行訪問により、業務を体験的に理解するとともに援助能力を高める。	ホームヘルプサービス同行訪問による業務実習 ※ 実習方法については、次の要件を満たす場合に限り、同行訪問時間の概ね半数を超えない範囲内で、模擬実習をもって同行訪問に代える。 ① 一般住宅における介護を想定し、これと同様の設備を有する部屋において実施する。 ② 相当の経験を有する介護・看護業務従事者を講師として、その者により策定された想定事例に基づいて実施する。 ③ より実践的な内容となるよう介護・看護業務従事者を利用者役に充てて、これに対して実際にサービス提供を行うことにより実施する。
2 老人デイサービスセンター等のサービス提供現場の見学（6時間）		
在宅サービス提供現場見学（6時間）	・在宅サービスの提供現場の見学を通して、そのサービス及び機関の役割・機能を把握する。 ・ホームヘルプサービスとの連携のあり方等、在宅生活者への総合的支援のあり方について学習する。	老人デイサービスセンター、老人短期入所施設の見学。

講師・担当科目一覧

講師氏名	担当科目（教科）	資 格
三好 雅樹	サービス提供の基本視点	歯科医師
坂本 亘	家事援助の方法	医学博士
千田 典史	ホームヘルパーの職業倫理 医学の基礎知識 I	歯科医師 歯学博士
川上 智史	障害、疾病の理解 住宅・福祉用具に関する知識 相談援助とケア計画の方法	歯科医師 歯学博士
結城 雅樹	高齢者、障害者（児）の心理	社会心理学博士
佐々木 千雅子	介護概論 共感的理解と基本的態度の形成 基本介護技術 ケア計画の作成と記録、報告の技術 レクリエーション体験学習	歯科衛生士 ホームヘルパー - 2 級 介護支援専門員 福祉用具供給事業従事者
近藤 ハツミ	高齢者、障害者（児）等の家族の理解 介護概論 介護事例検討 在宅看護の基礎知識 I 共感的理解と基本的態度の形成	看護師 看護教員講習修了 介護支援専門員
谷脇 明宏	在宅看護の基礎知識 I	歯科医師 歯学博士
澤飯 順子	基本介護技術	歯科衛生士 ホームヘルパー - 1 級 住宅改修アドバイザー

<p>木山 昇</p>	<p>住宅・福祉用具に関する知識 相談援助とケア計画の方法</p>	<p>介護支援専門員 ホームヘルパー2級 福祉住環境コーディネーター2級</p>
<p>腰野 充</p>	<p>福祉理念とケアサービスの意義 ホームヘルプサービス概論</p>	<p>介護福祉士 福祉住環境コーディネーター2級 認知症ケア専門士 介護支援専門員</p>
<p>仙石 泰仁</p>	<p>リハビリテーション医療の基礎知識</p>	<p>作業療法士 歯学博士</p>
<p>佐藤 哲夫</p>	<p>老人福祉の制度とサービス 障害者（児）福祉の制度とサービス</p>	<p>社会福祉士 介護支援専門員</p>

実習施設一覧

実習科目(教科)名 介護実習

施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者名	実習指導者		
					氏名	経験	主な資格名
慈啓会 特別養護老人ホーム	064-0941	札幌市中央区 旭ヶ丘5丁目6-51	011-561-8291	社会福祉法人 札幌慈啓会	羽山 政弘	22年	介護福祉士
介護老人福祉施設 新川エパーライフ	001-0930	札幌市北区 新川715番地2	011-764-3663	社会福祉法人 札幌恵友会	高山 悦子	30年	看護師
介護老人保健施設 グラーネ北の沢	005-0832	札幌市南区 北ノ沢1804-52	011-572-2002	医療法人 北海道循環器病院	平野ミサヲ	41年	保健師
介護老人保健施設 けあ・ばんけい	064-0945	札幌市中央区 盤渓232-7	011-615-9623	医療法人財団 敬和会	長尾真理子	11年	介護福祉士
介護老人福祉施設 たんぼぼの丘	064-0808	札幌市中央区 南8条西26丁目1-2	011-531-5000	社会福祉法人 札幌恵友会	渡辺 淳	15年	介護福祉士

実習科目(教科)名 ホームヘルプサービス同行訪問

施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者名	実習指導者		
					氏名	経験	主な資格名
慈啓会 ヘルプステーション	064-0941	札幌市中央区 旭ヶ丘5丁目6-51	011-561-8291	社会福祉法人 札幌慈啓会	福田 俊子	19年	ホームヘルパー1級
新川エパーライフ ホームヘルプサービス	001-0930	札幌市北区 新川715番地2	011-764-3663	社会福祉法人 札幌恵友会	條野 里美	10年	介護福祉士

実習科目(教科)名 在宅サービス提供現場見学

施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者名	実習指導者		
					氏名	経験	主な資格名
慈啓会 デイサービスセンター	064-0941	札幌市中央区 旭ヶ丘5丁目6-51	011-561-8291	社会福祉法人 札幌慈啓会	宮田 枝利	10年	介護福祉士
新川エパーライフ デイサービスセンター	001-0930	札幌市北区 新川715番地2	011-764-3663	社会福祉法人 札幌恵友会	高山 悦子	30年	看護師
グラーネ北の沢 通所リハビリテーションセンター	005-0832	札幌市南区 北ノ沢1804-52	011-572-2002	医療法人 北海道循環器病院	平野ミサヲ	41年	保健師
けあ・ばんけい 通所リハビリテーションセンター	064-0945	札幌市中央区 盤渓232-7	011-615-9623	医療法人財団 敬和会	長尾真理子	11年	介護福祉士
たんぼぼの丘 デイサービスセンター	064-0808	札幌市中央区 南8条西26丁目1-2	011-531-5000	社会福祉法人 札幌恵友会	渡辺 淳	15年	介護福祉士

講師情報

講師名<資格>	略歴/現職	担当科目(教科)名
<p>坂本 亘 <医学博士></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 藤女子大学QOL研究所 客員研究員 ● 略歴 昭和54年～昭和57年 北海道大学歯学部 講師 昭和57年～平成17年 同大学歯学部助教授 昭和58年～札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 平成17年～藤女子大学QOL研究所 客員研究員 現在に至る 	<p>家事援助の方法</p>
<p>川上智史 <歯科医師> <歯学博士></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 北海道医療大学病院 副院長 ● 略歴 平成14年～北海道医療大学歯学部 助教授 平成15年～平成16年 同大学医療科学センター 助教授 平成16年～同大学医療科学センター 教授 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 平成17年～北海道医療大学個性差医療科学センター 教授 平成19年～同大学病院 副院長 現在に至る 	<p>障害・疾病の理解 住宅・福祉用具に関する知識 相談援助とケア計画の方法</p>
<p>佐々木千雅子 <歯科衛生士> <ホームヘルパー2級> <介護支援専門員> <福祉用具供給事業従事者></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 ● 略歴 昭和49年～平成11年 札幌市保健センター 非常勤職員 平成4年～財団法人介護労働安全センター 非常勤講師 シルバーサービス振興会 非常勤講師 平成10年～老人福祉施設 新川エバーライフ、新琴似溪仁会 介護予防・口腔ケアボランティア活動 平成12年～小樽歯科衛生士専門学校 非常勤講師 平成13年～平成19年 北海道浅井学園 非常勤講師 平成13年～札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 現在に至る 	<p>介護概論 共感的理解と基本的態度の形成 基本介護技術 ケア計画の作成と記録、報告の技術 レクリエーション体験学習</p>
<p>近藤ハツミ <看護師> <看護教員講習修了> <介護支援専門員></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 ● 略歴 昭和54年～昭和60年 札幌厚生病院 教育部長 昭和60年～昭和63年 旭川厚生病院 総婦長 平成2年～平成7年 北海道医療大学クリニック 平成8年～平成18年 札幌総合福祉専門学校 副校長 平成19年～札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 現在に至る 	<p>高齢者・障害者(児)等の家族の理解 在宅看護の基礎知識 I 介護事例検討 介護概論 共感的理解と基本的態度の形成</p>

講師名<資格>	略歴/現職	担当科目(教科)名
澤飯順子 <歯科衛生士> <ホームヘルパー1級> <住宅改修アドバイザー>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 ● 略歴 平成9年～ 札幌市保健センター非常勤職員 平成15年～ 小樽歯科衛生士専門学校 非常勤講師 平成18年～ 札幌医療科学専門学校 非常勤講師 平成20年～ 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 現在に至る 	基本介護技術
木山 昇 <ホームヘルパー2級> <介護支援専門員> <福祉住環境コーディネーター2級>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 (株)メディウエルジャパン 専務取締役 ● 略歴 平成6年～平成10年 (社)北海道シルバーサービス振興会 平成12年～平成19年 (株)在宅サッポロ/ (株)メディウエルジャパン/ユアスタッフ 介護支援専門員 平成19年～ 小樽歯科衛生士専門学校非常勤講師 平成20年～ (株)メディウエルジャパン専務取締役 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 現在に至る 	住宅・福祉用具に関する知識 相談援助とケア計画の方法
腰野 充 <介護福祉士> <介護支援専門員> <福祉住環境コーディネーター2級>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 医療法人財団敬和会 老人保健施設けあ・ばんけい 介護主任 ● 略歴 平成13年～平成15年 社会福祉法人すばる 特別養護老人ホームひだまり大麻 勤務 平成15年～ 医療法人財団敬和会 老人保健施設 けあ・ばんけい 平成20年～ 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 現在に至る 	福祉理念とケアサービスの意義 ホームヘルプサービス概論
仙石 泰仁 <作業療法士> <教育学修士> <歯学博士>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科 臨床作業療法学講座 教授 ● 略歴 昭和61年～ 聖徳学園なかのしま幼稚園 平成元年～ 札幌あゆみの園 平成4年～ 札幌医科大学衛生短期大学部 短大リハビリテーション助手 平成5年～ 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科 臨床作業療法学講座 教授 平成20年～ 札幌歯科学院専門学校 非常勤講師 現在に至る 	リハビリテーション医療の基礎知識
佐藤 哲夫 <社会福祉士> <介護支援専門員>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現職 (株)医療福祉人材バンク 代表取締役 ● 略歴 昭和60年 芦別双葉学園 知的障害者授産施設 昭和60年～昭和62年 喜茂別双葉学園 知的障害者更正施設 平成元年～ 平成17年 清幌園 平成17年～平成18年 (株)さくらコミュニティサービス 平成18年～(株)医療福祉人材バンク 代表取締役 平成20年～ 札幌歯科学院専門学校非常勤講師 現在に至る 	老人福祉の制度とサービス 障害者(児)福祉の制度とサービス